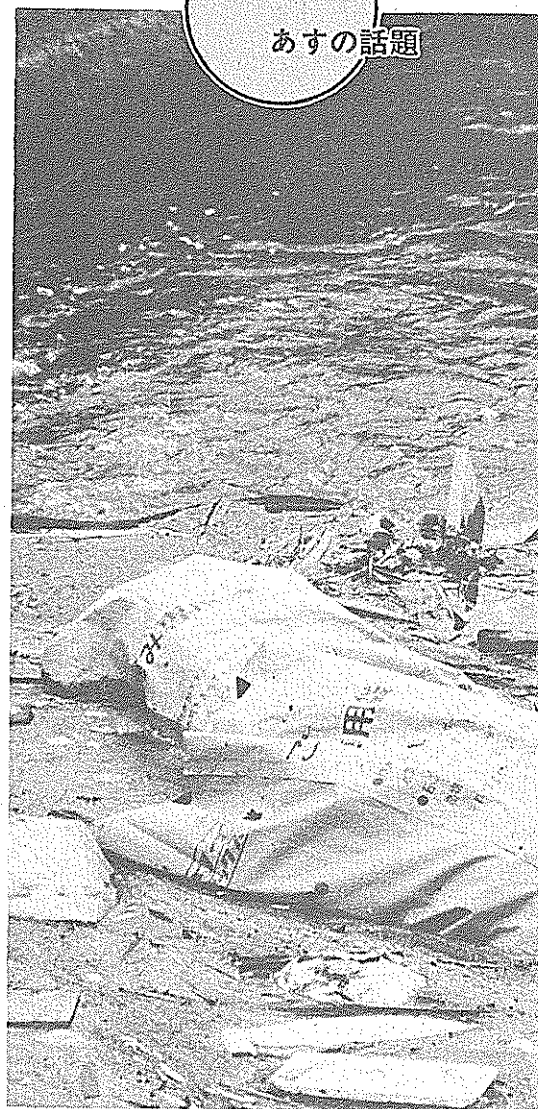


川は、私たちの生活にうるおいをもたらせます

きょうの話題
あすの話題



住民のモラルを

高めよう

とくに南園市を流れている河川のそのほとんどは、農業用水や生活用水に利用されているもので、人口の集中している後免町周辺における舟入川、藻川、横堀川、新川などもその例にもれず水路として作られ、それから派生する数々の溝により美田をうるおし養っているものですが、むかし、風物詩としてみられたことも遠の水遊びの光景は、いまではまったく見られなくなり心ざびしいものがあります。

ゴミ入れ川にしないで

一大掃討作戦も

「舟入川をゴミ入れ川にしないよう、……上流でゴミを投げ捨てぬよう強力な対策を」と八月七日、小笠原市長のもとへ、舟入川流域の高知市民から越境陳情がありました。

大津、高須地域の人々で組織する「舟入川をきれいにする会」（松岡鬼一会長）の人たちで、数年前から舟入川の浄化運動を強力にすすめており、不法投棄されたゴミ類を流域住民が総出で年何回か清掃に取り組んでいるもの、後から後から上流から発泡スチロールやビニール類などのゴミが流れてきて、せつかくの努力ももとのもくあみの状態。

川には自然に浄化する作用もついています。しかしながら現在の化学物質万能の時代に、川のもつ浄化作用は通用しないものとなりました。

ビニール、ポリ容器、発泡スチロールなどの化学製品は腐敗するものでなく、どこかに蓄積されます。

最近、し尿の水酸化がすすんでいるようですが、完全浄化そうにしても設置後の管理（二年内にその清掃、定期的な水質検査など）の不十分さから、川を汚濁していることがあります。これが管理については、浄化そうの管理業者に委託しておくことも望ましいものです。ところで一般家庭で簡単に設置できる簡易浄化そうは、南園市の場合、下水道や下水処理場がないため許可されないし、設置することはできないのです。便所を水洗化される場合は、完全浄化そうによるべきです。関係の水利者の同意と保健所などの許可を必要とします。

いずれにしろ住民の不注意や心得違いから川の汚濁を

泣いています

むかしも、いまも、水は人生に欠くことのできない大切なもの、その水の集り流れる川は、また、人々の生活と深くかかわり合いを持ちながら流れています。

いま!! その大切な

なぜか!! 川は

川を私たちがみずからよごし、殺すことになっています。そして、目をそむけるような川に変えたのは、自然ではなく、美しい心をなくしたわれわれそのものです。

もつこれ以上!!
川をよごさないで!!
むしろ川をきれいになりたいものです。

そこをたまりかねて、上流の南園市や土佐山田町の流域を見て回り、投棄のめだつ南園市へ「土佐山田町も関係するが、南園市の投棄がひどい、このままだと実力行使も辞さぬ」などと強力な要請があったものです。

こうした要請は、土佐山田町や南園警察署などとともに数年前にも受けたことがあったが、当時、南園市のゴミ処理施設が貧弱で、かつ、ゴミ収集も不十分な状況のもとにあり、「住民のモラルに期待する」ばかりであったが、収集の完全に行われる現段階にあつては、なんらかの対策が望まれることは当然のこと、また、「日ごろから舟入川がきたなくなつたと痛感していた」と、小笠原市長は、要請にきた同会メンバーの人たちとともにさつそく現地を見て回りました。

市長は、「下流域の住民に迷惑のからぬよう対策をたてる」とともに、大々的に川をきれいにする運動を行なう」と述べ、住民のモラルの向上はもとより、舟入川関連の、ゴミ掃討作戦」に取り組む決意を示しました。

その結果、市は職員を動員し、流域住民の協力のもとに、八月二十六日、舟入川の!!ゴミ掃討作戦を展開することにしました。



みんなの努力で きれいにしよう

これまでに川をヨゴしたのは、いままで市のゴミ処理の不完全さに根ざしたのも一つの原因と考えられますが、数年前より週二回のゴミ収集、月一回の不燃物の収集によって、市は万全を期しています。

しかし、いままでのくせと申すか、日本人のものの考え方や、川にものを浄化させるというむかしからの習慣が、川にゴミを流すことを無意識に、あるいは意志して捨てている人々をまだまだ多くみかけます。

これまでと違って、49年10月、廿枝に香南清掃組合のゴミ処理工場が完備し、操業を始めていますが、処理能力の一日（八時間）八十トンには遠く及ばず、焼却作業は隔日操業で実施しており、市から出されるゴミは完全に処理できる態勢にあります。

ゴミは、▼焼却できる家庭のゴミ、▼びん、かん、金物などの不燃物に分け、それぞれの定められた週二回、月一回の収集日に指定の集積場所へ

▼家庭の生ゴミは、所定のゴミ袋に入れて出す。

▼びん、かん、金物などの不燃物は、ビニール袋やダンボール箱などで荷作りをして出す。

など、市民の一人ひとりが町を美しく、川をむかしのようによみがえらせる努力をしましょう。



このような
苦勞をしている人も



チョット待て!!
泣いていますよ、川が!

よみがえらそう。きれいな川と美しい心